「クロアチア共和国訪問」

京都市　福島宣子

京都市との姉妹都市提携３０周年を迎えたクロアチア共和国の首都ザグレブ市を門川市長様と訪れる機会を得ました。

女性団体として、大切にしてきた絆や、温もりの精神をアピールし、また「男女共同参画」「子育て支援」「福祉」等について、独立戦争を経た過程においての、女性の働きをクロアチアの歴史や文化から学んでまいりました。

クロアチアって？どこにあるの？　イタリアの近くにあり昔はユーゴスラビアという国でした。わずか２０数年前に独立戦争を経験、まだその痛々しい姿がどこかしこに残され胸のつまる思いでした。自分の国は自分で守るという意識の風化が招いたとも言われています。

でも今は安全で、美しく穏やかな素晴らしい国でした。現代社会の中で、楽しいことばかりじゃなく、日々の不満や人間関係のストレスがゼロではないはずなのに、とにかく自然体で、その土地で収穫された野菜、果物に感謝し、知恵をしぼって、口に合った食べ物を食する人々、取り繕うこともなく日々を過ごすという姿がとっても微笑ましく思えました。男性も女性も競争することも、見栄を張ることもなく、日々楽しんでおられる姿に羨ましくさえ感じます。

マラゴリッツア難民キャンプもまだあり、訪れて子供たちと交流。しばし、童心に戻りました。現地のかわいい女の子たちが日本の「証城寺の狸ばやし」を日本語でとても上手に歌ってくれ、こんな遠い所まで来て、日本語で聞く童謡にびっくり、感動しました。譜面も見ないで楽しく歌ってくれた女の子たち、忘れることはないでしょう。

国旗が張ってあり、伺うと、このキャンプ村は日本のＯＤＡ（政府開発援助）で建てられたとのこと、私たちの知らないところで頑張ってくださっていると聞き、うれしく誇りに思いました。

あの黒柳徹子さんもお見えになったそうです。

各々の国の違いを認めたうえで、仲良く助け合える社会を未来に期待し見つめていきたいと思います。

編集後記

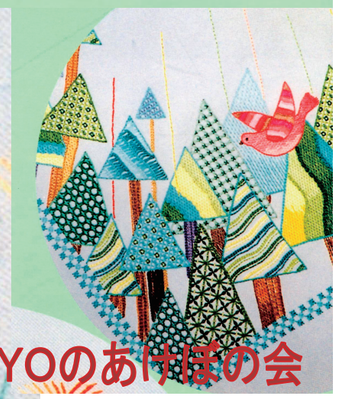
マンサクや蝋梅、福寿草、オウレンの花がいつもの所にいつものように咲き始めました。
「3．11東日本大震災」から１年、復興・復旧に取り組まれている姿に、胸が痛みます。
そんな中、3 月 7 日の京都新聞に瀬戸内寂聴さんと哲学者鷲田清一さんの対談が載っていました。瀬戸内さんは、「苦しんでいる人を忘れずに」と、鷲田さんは「案ずる気持は必ず届く」と、被災地に行かずとも 「被災地を思う」ことが大切だと話されていた。また、「歌や音楽」も命のエネルギーになるともふれられていました。一日も早い復興を祈り続けたいと思います。
話は変わり、「山陰海岸ジオパーク」を巡る観光特急列車（団体専用）が今年の秋から運行されるそうです。天橋立、城崎温泉、浦富海岸、鳥取砂丘などの素晴らしい景観を多くの人が楽しめるのだと思うと嬉しくなりました。 K

2012.3　発行／海外研修ＫＹＯのあけぼの会

〒604－8006　京都市中京区河原町三条上る　大和学園内
TEL　075 - 241-0891　FAX　075 - 241-0831

てるびっと

No.１８
2012. 3



表題「てるびっと」は前京都府知事荒巻禎一様の直筆で、
インドネシア語（京都府友好国）で「あけぼの」意味です。
京都府の花「しだれざくら」「嵯峨菊」木「北山杉」鳥「オオミズナギドリ」を戸塚フランス刺繍で表したものです

海外研修KYOのあけぼの会

teru_no18_output.indd　1-2　　2012/03/30　15:02:27

ごあいさつ

海外研修 KYO のあけぼの会
会　長　田中　田鶴子

会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申しあげます。

日頃より海外研修ＫＹＯのあけぼの会の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼を申しあげます。

昨年は、３月１１日の東日本大震災、原発事故そして台風による集中豪雨など100年に一度といわれる激動の一年でした。多くの尊い命が失われたことに、心から哀悼の意を表します。震災前のような活気が一日も早く東日本に戻ってくることを願うとともに、まだまだ、続く復興復旧への長い道のりに、支援の和が今後も途絶えることなく続いていくことを願ってやみません。

さて、私たち海外研修ＫＹＯのあけぼの会では、２００５年に自分達の生活に密接に関係する「水」に着目し「京都の歴史･水力発電の源をたずねて」と題して自主研修を行って以来、自然環境に目を向けて参りました。

そして、昨年は自分達の住む地域や都市そして国の自然について考える一年にしたく、２０１０年にユネスコの「世界ジオパーク」に認定された、丹後半島から兵庫県・鳥取県に連なる美しい地形や地質遺産の「山陰海岸ジオパーク」について学ぶ機会を持つことができました。

毎年、このように充実した自主研修が実施できますのも、会員皆様のご支援とご協力のおかげであると感謝いたしております。今後も、皆様が楽しんで学んでいただける機会を提供して参りたいと存じますので、これからも、皆様のお力添えを賜りますようお願い申しあげます。

2011年度総会

日時：平成23年5月13日　11：00～14：30
場所：しょうざんリゾート京都　（京都市北区）

総会
1　開会
2　会長挨拶
3　来賓紹介
4　来賓祝辞
5　議長選出
6　議事
　① 2010年度事業･決算報告
　② 2010年度監査報告
　③ 2011年度事業･予算（案）審議
　④ その他

昼食･散策　　しょうざんリゾート･北庭園の散策

山陰海岸ジオパーク研修旅行感想文

多様な地域の資源を住民、民間団体、企業、行政が協働して保全をし、一致団結して、教育、観光、産業の発展に貢献していることを感じた。自然の宝庫である山陰はグルメ、ヘルス、ビューティなどの女性が興味を持つキーワードが多く、弱年齢層にもジオパークの存在を啓蒙すれば、地域の経済発展につながるのではないか。
湯村温泉の「ディズニーランド計画」は町全体で取り組まれたものであり、ジオパーク認定の核をなしている。相手をびっくりさせるような価値を付け加えることが不可欠だと学び、早速自分の立場でいかす努力をしている。　K

山陰地方は温泉だけでなく、他に例をみない地形的、地質学的特徴をもった場所であることを知り、海岸線の地形が太古の大陸と日本列島成り立ちの経緯を学ぶことができた。
香住海岸の様々な岸壁の模様、鳥取砂丘と空と海の造形の美しさ。隠岐の島の複雑な海岸線と鮮やかな海の色に感動。自然と歴史的な史跡、文化遺産、豊かな温泉。「癒し」と将来に向けた研究や社会実験を推進し、地域ぐるみで努力がなされて「世界ジオパーク」に認定された。　T

数千億年前に形成された地球活動の遺産や、地殻活動によってできた海岸風景を目の当たりにし、驚きと感動。人類はどうして生まれ、どうして日本列島にやってきたかなど遠い祖先へ思いをめぐらした。大自然が作り出した芸術を鑑賞するとともに、驚異の大自然が山陰地方の町づくりに貢献していると感じた。私たちの審美眼はますます深く、広がった。　T

山陰海岸のジオパークは物の見方、考え方を変えてくれた。単なる観光の対象でしかなかった景観が、大陸の一部であったという日本列島の成り立ちを物語る歴史的な背景を知りました。　Y

陸上・海上の両方から雄大な芸術・地質遺産に接したこと。地域経済・社会の活性化に、女性も大きな役割を担っている姿にであったこと。香住遊覧船は三姉妹船長がジオの世界を案内していました。また、湯村温泉では温泉熱を利用した電化を世界に向け発信するなど、自然保全、教育、地域産業に活用することで「持続可能な発展」を目指していた。
日頃から、意識して関心を持ち、思い続け、言い続け、行動する姿勢に出会った。大地の成り立ちを知ることは、環境問題とも大きな関わりがあることを体験した。　O

ジオパークという耳新しい言葉を理解することが出来た。アジア大陸の東の端で火山活動が起こり、その地殻変動で日本海ができ、日本列島が生まれたという名残りのある山陰海岸の地層や岩石を堪能し、白島海岸に代表される隠岐の島の地形もジオパークに認定されることを願った。　U

ジオパークとは人間がいかに大地やそこにある現象を理解し、活用し、地域振興に役立てているかが認定のポイントだと知った。奇しくも東日本大震災で電力問題が起き、節電やエコ活動に関心が高まっているなか、湯村温泉の温泉エネルギーの活用策は、身近で有用なお話だった。　O

ジオパークは地域の人々の熱意と努力によって認定され、手を抜けば認定から外されるという厳しい条件がついているのだそうだ。自然を壊さず、地域がすたれないように保つ努力をされていることなど、多くの人に伝えていきたい。美しい海岸線の入江にどこか外国から流れてきたような多くの漂着ゴミが目についた。そのための活動も必要かと感じた。　N

海外研修ＫＹＯのあけぼの会　入会のご案内

1　人とのつながりを大切にして　2　実際に行動する　3　まわりの多くの人に伝える

★主な活動内容　・資質向上のための研修会　・国内外研修旅行　・KYOのあけぼのフェスティバルに参画　・機関紙「てるびっと」の発行

★年会費　2，000円

teru_no18_output.indd　3-4　　2012/03/24　10:33:20

第23回KYOのあけぼのフェスティバル2011

ワークショッププログラム

海外研修KYOのあけぼの会・京都商工会議所女性会

日時　**平成23年11月23日（水）** 13:00～15:00

場所　京都テルサ　参加者　80名

1　**開会挨拶**:海外研修KYOのあけぼの会
会　長　田中　田鶴子

2　**DVD鑑賞**:「山陰海岸ジオパーク」

3　**研修旅行参加者発表**
「山陰海岸はみんなの宝物」
コーディネーター　福島　宣子
発表者　瓜生美恵子
武田　公子
奥谷かをる

4　**講演**:「山陰海岸ジオパークの地域活性化のための仕掛け」

講師:　湯村温泉　朝野家社長
朝野泰昌氏

風土と人々の暮らしを含むすべてが「ジオパーク」であり、地域らしさや地域文化にこだわり、地域振興に活かすこと。民間・地域が主導し、世界に情報発信し、気候風土・文化・生活・食材などすべてで地域に誇りを持て！と。湯村温泉では「温泉熱発電」に取り組みエコにつなげている。

5　**閉会挨拶**:京都商工会議所女性会
会　長　岡野　路子

ごあいさつ

京都府府民生活部
男女共同参画監
長濱　英子

海外研修ＫＹＯのあけぼの会の皆様方には、日頃から京都府政とりわけ男女共同参画行政の推進に、格別のご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年３月１１日に発生した東日本大震災は、未曾有の被害をもたらしました。犠牲になられた方々のご冥福と一日も早い復興をお祈りいたします。被災地には、日本各地はもとより世界中から支援の手がさしのべられ、絆や思いやりの心の大切さを私たちは実感しました。一方で、避難所運営や復興に向けての男女共同参画、女性への暴力の課題も浮き彫りになりました。今後は、女性・生活者の視点を取り入れた復興、被災地・被災者への継続的支援、防災への取組みを進めていく必要があります。

また、昨年皆様方は「山陰海岸ジオパーク」を訪問され、京都府丹後半島から兵庫県・鳥取県に連なる美しい地形や地質と人々の暮らしとの関わりなど研修を深められました。「隠岐諸島」では大陸との文化交流の足跡にも触れられ、持続可能な地域社会を目指すこれらの取り組みを、ＫＹＯのあけぼのフェスティバルのワークショップで発表していただきました。

私たちは今、混沌とした先の見通しの見えづらい時代を生きています。少子高齢化やエネルギー問題への対応、地球温暖化対策など課題が山積しています。次代を担う子どもたちに、「持続可能な発展」につながる自然や社会の仕組み、絆の大切さや思いやりの心を伝えていかなければなりません。女性の力を社会に生かし、女性の活躍によってこれからの経済・社会を支え活性化していくことが、これらの課題解決に繋がるものと確信しております。

皆様方には、今後とも、地域社会のリーダーとしてご活躍いただき、京都府の男女共同参画社会づくりに向け、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたします。

・研修会の様子

出席会員22名、委任状42名の出席を得、開催。

田中会長の挨拶に続き、ご来賓の京都府府民生活部・長濱英子男女共同参画監から、東日本大震災被災者への哀悼の意とともに、被災者には寄り添う支援が必要とのお話があった。あけぼの会には京都府と一緒になった取り組みに期待すると激励いただいた。

午後　**講演「女性の生きがいと山陰海岸ジオパーク」**
山陰海岸ジオパーク館館長　谷本　勇氏

ユネスコの「世界ジオパーク」に認定された「山陰海岸ジオパーク」の認定までの経緯や日本列島の成り立ち、多様な地形、地質、温泉などを活用して地域の活性化をはかっていることなどお話いただいた。

自然地理学がご専門で、兵庫県の海岸をライワークの場とし、長年活動されてきた先生のお話は興味深く、研修旅行への夢が膨らんだ。

teru_no18_output.indd　5-6
2012/03/24　10:33:23

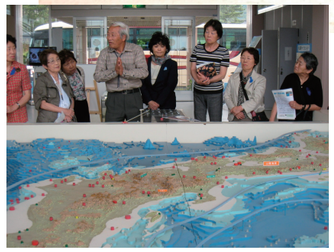
世界ジオパーク認定

平成23年6月6日～8日　参加者27名

海外研修KYOのあけぼの会・京都商工会議所女性会

山陰海岸ジオパーク（大地の公園）と歴史の島・隠岐の旅

兵庫県　玄武洞



山陰海岸ジオパーク館にて

遊覧船かすみ丸女性船長の操舵で香住海岸遊覧

ジオサイト湯村温泉での研修会

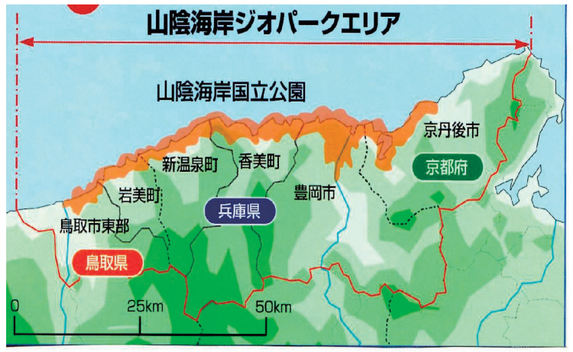
＜ 探 訪 地 ＞

京都府　久美浜湾

兵庫県　玄武洞、香住海岸
山陰海岸ジオパーク館、湯村温泉

鳥取県　山陰海岸学習館、鳥取砂丘

島根県　隠岐の島



ジオパークとは　化石、岩石、地形、火山、断層、温泉などの地質遺産を含む大地の自然公園を意味する。認定を受けるためには、研究・教育活動・観光に活用し、地域振興に役立てていることも条件となっている。

研修旅行参加者（敬称略・順不同）

＜海外研＞田中田鶴子　一瀬裕子　高木清子　湯川美栄子　武田公子　福島宣子　奥谷かをる　木下惠子　角川禎子　高橋圭子
山際佐知香　大野三恵子　大橋嬉子　岡田マサ　村松ゆき子　小谷元子　瓜生美恵子　金澤澄子　鈴木初子　西村恵美子
山下亮子　　＜女性会＞　岡野路子　下野嘩子　岡崎紀枝　西村温子　山科昌子　神田尚子

鳥取砂丘

山陰海岸学習館

隠岐・かぶら杉

隠岐・白島海岸

teru_no18_output.indd　7-8　　2012/03/24　10:33:30